

教科用図書の調査研究報告書（総括）

| | |
|-----|---------|
| 種目名 | 社 会（地図） |
|-----|---------|

| 発行者 | 総合的な所見 |
|-----|--|
| 東 書 | <p>（ア）第1の観点 基礎・基本の定着 ①巻頭に地図記号の説明や活用方法を記載している。 ②巻末の「日本の周辺」に近隣諸国を含む地理的環境を記載しており、領域の特色や領土をめぐる問題について理解を深めることができる。</p> <p>（イ）第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫 ①読図のポイントや考察の視点をキャラクターの吹き出しで記載している。 ②「テーマ資料」を記載し、巻末の統計資料と合わせて、地理的分野の諸地域学習での課題解決的な学習に活用することができる。</p> <p>（ウ）第3の観点 内容の構成・配列・分量 ①中国・四国地方の基本資料・テーマ資料を記載しており、地域学習が行えるよう工夫がされている。</p> <p>（エ）第4の観点 内容の表現・表記 ①各地図について、さまざまな縮尺で記載している。</p> <p>（オ）第5の観点 言語活動の充実 ①巻頭ページにヨーロッパを例に記載しており、学習の流れを確認することができる。 ②キャラクターの吹き出しで地図の活用方法や課題を探求するための問いを記載しており、問いに対応した主題図を示すことで収集した情報を用いた表現の例を知ることができる。</p> |

帝 国

(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着

- ①巻頭に凡例や地図帳の使い方を記載している。
- ②巻末の「日本の領土とそのまわりの国々」に近隣諸国を含む地理的環境を記載しており、歴史的経緯を踏まえた日本の領域を正確に把握することができる。

(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫

- ①世界の各州には、自然環境や生活・文化・産業などのイラストを配した鳥瞰図を記載しており、地域的特色を視覚的にとらえることができる。
- ②修学旅行や校外学習で活用できる資料が掲載され、主体的に地図帳を活用することができる。

(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量

- ①中国・四国地方の資料を記載しており、地域学習が行えるよう工夫がされている。

(エ) 第4の観点 内容の表現・表記

- ①各地図について、さまざまな縮尺で記載している。

(オ) 第5の観点 言語活動の充実

- ①巻頭ページにオーストラリアを例に学習活動の方法を記載している。
- ②「地図活用」や「学習課題」を記載しており、社会的な見方・考え方を働かせた学習活動の例を示すことで、主体的・対話的で深い学びに近づくことができる。